



うきうき コドモックル

季刊 第33



2015年12月発行

～皆さんは臨床工学技士を知っていますか？～

臨床工学技士は医療機器の専門医療職です。病院内で、医師・看護師や各種の医療技術者とチームを組んで生命維持装置の操作などを担当しています。また、医療機器が何時でも安心して使用できるように保守・点検を行っており、安全性確保と有効性維持に貢献しています。コドモックルでは現在3名の臨床工学技士が在籍しています。普段は手術室や集中治療室等で仕事をしているので、皆さんとお会いする機会はなかなかありません。そこで今回はどんな仕事をしているのか少しだけ紹介させていただきます。



佐竹工学技士



平石工学技士



中川工学技士

医療機器でなにか困った
ときは、遠慮なく
聞いてくださいね♪



人工心肺装置の操作・管理



血液透析装置の操作・管理



薬液注入ポンプの点検の様子



機械の清拭の様子

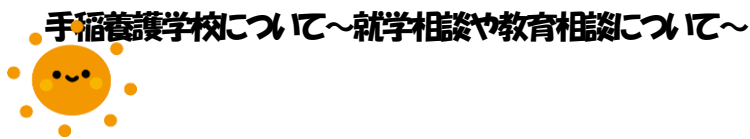
～クリスマス児童会 手稲養護学校体育館にて:楽しく過ごした年末のイベントです♪～

～看護部とリハ課での妖怪体操～



～サンタ達からのプレゼント～





北海道手稲養護学校 支援部 山部 正子

北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）の隣には、渡り廊下でつながっている学校があります。ちょうど国道5号線に沿って札幌側に並んでいる学校で、そこが北海道手稲養護学校です。

手稲養護学校は、肢体不自由・病弱のお子さんか就学する特別支援学校で、原則、コドモックルに入所している子どもたちを対象としています。コドモックルへの入所は、お子さんの状況に合わせた時期・期間となることから、手稲養護学校に通うお子さんの大半が、数ヶ月から半年、1年程度の在籍となります。手稲区に住んでいる肢体不自由のお子さんは、通常、拓北養護学校が校区（通学区域）となります。

また、平成22年度から、新小学部1学年を対象とした「特例通学」が認められています。これには、肢体不自由のお子さんであることや、手稲区に居住していることなどのいくつかの条件があります。



お子さんの小学校就学までの流れについては、“学習の場”は大きく分けると3ヶ所があります。一つは、特別支援学校、もう一つが小学校の特別支援学級、そしてもう一つは小学校の通常の学級です。それぞれ、支援の内容や学習環境に違いがあります。

就学に際し、特に学校生活に支援が必要で、“特別支援学級”や“特別支援学校”への入学を検討している場合や、小学校にバリアフリーの設備を要望する場合は、早めにお住まいの地域にある学校への見学を行うことが望ましいです。幼稚園の年中さんの夏からですと、年長さんになってからの就学相談が進めやすくなると思われます。年長さんを待たずとも、年中や年少さんでもかまいません。

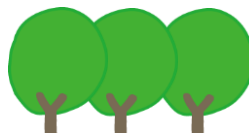
また、できるだけ年長さんの4月から夏までの間に、学校見学や教育相談を、お子さんと一緒に受けることをお勧めします。“特別支援学校”や“特別支援学級”への入学を考えている場合は、教育委員会への就学相談と合わせて、学校に相談してから家庭から希望を伝えます。入学を希望する学校へは、お子さんと一緒に、必ず“教育相談”を受けて、配慮事項を伝えます。



まだ小さなお子さんの「“学校”への就学と言われても・・・、よくわからなくて困っています」というようなご相談から、「（コドモックルの）隣の学校ってどんなところ？」というような見学のご希望まで、手稲養護学校では支援部が窓口になって受け付けております。お電話やメールでご相談ください。お子さんの成長を最大限促すお手伝いをさせていただければ、と思います。

電話受付：月～金（祝日、振替休業日を除く）9：00～16：00

教育相談用メールアドレス：teineyugo-z2@hokkaido-ced.jp



〒006-0041 札幌市手稲区金山1条1丁目240番6

北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル） Tel. 011-691-5696

ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/hkr/>